

文化・芸術と産業による地域ブランドの創出とまちの活性化に向けた考え方について

2021年9月に策定した中野区基本計画では、重点プロジェクトの一つとして「活力ある持続可能なまちの実現」を位置づけており、地域ブランドづくりによる地域経済の回復、まちの活性化を進めることとしている。

基本計画の実現に向け、区の目指す地域ブランド創出及び推進に向けた考え方について報告する。

1 検討の背景

中野区基本計画の重点プロジェクトでは、各地区のまちづくりによるまちの変化を踏まえた上で、中小企業や商店街などの事業者ニーズを的確にとらえた施策を展開し、アニメ・サブカルチャーなど中野の魅力的な文化資源を有効に活用した地域ブランドづくりによる、まちの活性化、にぎわい創出を推進していくこととしている。

また、現行の中野区産業振興ビジョンを検証する中でも、地域のにぎわい創出のためには、まちづくりにより変わりゆく地域特性を捉えるとともに、文化・芸術の持つ創造性、人の交流を生み出す力を産業と結びつけた、新たな価値の創出と発信が必要であることが明確になった。

現在、区は(仮称)中野区文化芸術振興基本方針及び(仮称)中野区産業振興方針、並びに今後の観光施策に係る方針を策定中であり、それぞれの方針を有機的に結びつけ、一体感をもって推進していくことによる地域ブランドの創出、発信の視点を各方針に盛り込めるよう検討を進めている。

2 地域ブランド戦略

(1) 地域ブランドの創出(人と人が相対しながらつながることによる新たな価値の創造)

多種多様な人が集まる中野には、異文化交流や国際交流があり、オープンマインドでウェルカムな雰囲気がある。人と人とのつながりが強く、地域の絆がある。人々の生活を豊かにする文化・芸術や独創的な事業の新たな芽生えが人のつながりのゆりかごの中で生まれ、発展を遂げる可能性を秘めている。こういった風土から、「中野ならではの地域ブランド」が創出されていく。また、地域ブランドの創出においては、中野の強みである文化・芸術、産業に関わる人や活動がこの地でさまざまに接点を持つことで、絶え間なく動き続けるダイナミックなうねりの中で生まれてくる新たな価値を呼び起こし、中野のブランド力アップを図っていく。

創出された地域ブランドは、地域への愛着・魅力の向上に繋げるとともに、新たな文化・芸術・産業の裾野を広げ、文化・芸術分野における創業意欲の向上や、ブランドを活用した企業の集積へと発展させていく。

(2) 地域ブランドの発信

地域の魅力向上に資する事業を効率的かつ効果的に展開すること、及びそれを発信することで中野区の地域を活性化していくため、以下のような取り組みを進める。

区民や団体、事業者と区の協働・協創により中野のブランドを生み出し、地域ブランドの持つ波及効果を含めて、エリアマネジメントやシティプロモーション・観光と連動させることにより、世界に向けて魅力を発信し、区内外からの認識度の向上を図る。

(取組みの例)

- ・地域資源（場所・人・活動）の発信、創出（プレイスメイキング）
- ・さまざまな主体による情報発信力の強化
- ・中野のまちを舞台としたアニメやゲーム・映画・ドラマ制作の誘導（フィルムコミッションの推進など）
- ・個性的な参加型イベントの創出・誘導支援
- ・ふるさと納税返礼品の開発 など

3 推進に向けての課題

中野駅周辺整備、西武新宿線連続立体交差化により、中野のまちが大きく変わる。こうした大きなプロジェクトを機会と捉え、インフラ整備であるハード事業、地域のにぎわいや情報発信によるソフト事業との密で柔軟な連携を行い、一体的に進めていくことが重要である。現時点ではソフト面の検討・整備が遅れており、まちづくりの進展を踏まえた検討の深化が急務となっている。

検討の範囲が複数領域にわたることから、庁内関連部署が連携しソフト事業と一体的な推進体制を整備することで、相乗的な効果を生み出し、より効果的かつ効率的な推進を図っていくことができる。

4 今後の予定

令和4年度 …… (仮称)中野区観光施策に係る方針、(仮称)中野区文化芸術振興基本方針の策定

令和5年度 …… 推進体制の強化、(仮称)中野区産業振興方針の策定